



人手不足時代に入った雇用マーケット

キマタパーソネル&コンサルタント社
副社長 木全健一

雇用統計から見た最近の動向

1. 米国の動向

米国では昨年以来の景気回復が続き、失業率は昨年12月では4.9%に低下し、前月に比べ10万8000人の雇用拡大が報告されている。

失業率はピーク時の2003年6.3%から順調に下がっている。平均時給は2000年の13.6ドルからほぼ物価上昇に比例して上昇しており、16.34ドル（年収ベースで34,000ドル）である。

シカゴ中西部日系企業では、トヨタを中心に絶好調な自動車業界が牽引役となり、工作機械、物流企業、ハイブリッド自動車をターゲットにした電機メーカーが雇用を拡大している。

2. 日本の動向

一方、日本の労働市場に目を向けると、長い就職難の時代が終焉し、人手不足が再燃している。失業率は昨年12月で4.4%で前月より0.2%低下している。

特に13年ぶりに有効求人倍率が1倍を回復したのは明るいニュースであった。特に技術者の不足が深刻になっており、特に人手不足が顕著な分野では機械電気技術者の有効求人倍率が5.2倍、情報処理技術者が3.7倍となっている。次に建設業界の現場職が2倍となっている。しかし、事務職では会計事務が0.4倍、一般事務では0.2倍と、職種別で大きな開きがあ

る。また、パートの倍率が1.4倍と正社員の0.65倍よりも多く上回っており、正社員はいまだに狭き門になっている。

シカゴ&中西部におけるマーケットの変化と特徴

1. 日米同時好景気

これらのデータからも分かるように、シカゴを中心とした米国中西部は、2001年のテロ事件以来初めての日米同時好景気を迎えていることを実感している。

弊社に寄せられたシカゴ、デトロイトの日系企業求人の中で、採用が活発な職種の筆頭として、新製品の拡販や、新規マーケットをターゲットにしたセールス/セールスエンジニアが大きな伸びを示している。次いで、日本とのリエゾンを目的としたバイリンガルの会計やセールスアシスタント、駐在員のアシスタントの需要が依然として高い。

長い不況から急速に立ち直った2005年半ばから後半において日系企業の大規模な雇用拡大があった。

2006年に入ってから深刻な人手不足と、人材相場の上昇が顕著になった。

2. 日米賃金差の拡大

日本経済は90年代において、物価の横ばいや下降、賃金上昇の凍結など、デフレの時代が続き、労働者の給与が上昇しなかった反面、米国では着実に賃金が上昇し、日系企業では現地採用人材の給与相場のマーケットとの乖離が目立った。

特に、自動車業界を中心とするプロフェッショナルの優秀なセールスの人材は、ハイブリッド自動車部品などの新規分野において、米系企業は日系企業よりも、5%~15%も給与が高くなってしまった。この給与差を受け入れる余裕のある企業は優秀な現地人材を採用し、新規マーケットを大きく拡大するチャンスを掴んでいる。

3. 当世若者気質

一方バイリンガル人材のマーケットは、ビザのサポート枠の減少もあり厳しさを増している。新卒のH1-Bビザサポートは困難を極めており、既にH1-Bビザを取得し、日系企業での経験を数年積んだ人材の雇用主の切り替えという形の転職が目立っている。

昨今はファミコンと共に育ったデジタル世代の子供達が入社社員になる時代になり、若者の間では他人との難しいコミュニケーションを避ける傾向が増え、バイリンガルセールスの人材難はこれからのシカゴ日系企業の発展の上で大きな足かせになると小職は危惧している。また、日本での就職が80年代のかつてのバブル期並みに改善していることもあり、優秀な人材は米国の大学を卒業しても日本に帰る傾向が強くなっている。

4. 国際化マーケットでの勝ち組企業とは？

現代の激変の時代に勝ち残るために日系各社が日夜知恵を絞っている。この変化とチャンスのある時代に対応するべく、本社に国際営業部を置き米法人の現地米人とも英語コミュニケーション可能な体制を整え、米国での人材マーケットの相場を把握し優秀な米人を確保し、国際化マーケットで更なる飛躍を着々と進めている国際派勝ち組日系企業がこのシカゴにも少なからず存在するのである。

5. さいごに

最後に小職の経験から特筆したいのは、シカゴを中心とした日系企業は採用の基準を大きく引き上げたことである。特に新卒学生を見る眼は数年前のそれとはまるで違い、IT技術者や、経理のようなプロフェッショナルなバックグラウンドのある新卒学生でも経験の不足を理由に採用を見送る企業が殆どになっており、若年層の就職は難しくなっている。

いままでのように有名な大学を出ていれば一流の会社に入れる時代は終わってしまった。弊社では大

学3年生にはインターンなどの経験を積むことで社会人になる前に実社会を経験することを強く勧めている。

本件に関するお問い合わせ、キマタパーソネルの木全健一まで直接お願いします。電話 847- 228-1660 E-mail kpc@kimata.com



会社概要

キマタパーソネル&コンサルタント

住所 415 EastGolf RD#114, Arlington Hts IL 60005
シカゴ、デトロイトを中心に日米プロフェッショナル人材の紹介サービスを提供している。特にハイテク産業セールスエンジニア紹介の分野ではエンジニア出身のリクルータが長年の実績を持っている。